

# 川崎市立南野川小学校 校歌

Andante (児童にはAllegrettoで)

古田 拓 作詞  
西崎嘉太郎 作曲

みどりかがやかく 緑のうた  
われらのゆめを 歌うよ  
にたむかひの けたはうた  
こだのさかすかに びかりあふれる  
うさくおほくおほく みんなのうたを  
みなみのがわのこどもらのうた 一ごえうたごえさう  
たるごえさ ふじさんは きょうもはれて  
るはれてる おおやまも すがただしく  
あわが みなみのがわ しょうがこう  
こりほこりあれ みなみのがわ  
しょうがくせい

## 校歌の由来（作詞者 古田拓先生の話）

私は、校歌の中に「詩」を歌いあげたいと考えています。しかし、校長先生は、毎日毎日を最高に生きることを信条にしておられます。先生方は、明るく力強いものを、そして、「緑、夢、希望」などの言葉をいれてもらいたいとのことでした。

さて、私が学校の大地に立ってあたりを眺めたとき「緑かがやく」が、さらに屋上で空を仰いだとき「おい雲よ」と浮かびました。その上、大きい竹藪に心が引かれました。これを柱にして、中に何を歌いこむか、これからが大変でした。カー杯今日一日をやりぬいたら、充実した明日が生まれるができました。だが、大地に深くは何日もかかりました。しかし、1と2だけでは、平凡で物足りません。やっと、富士山と大山ができましたので私の心は落ち着きました。西崎先生の曲も、そこをうまく作曲してくださいましたので嬉しくてなりません。皆さんの歌声が天地いっばいに響くように、そして、皆さんの心の中にしみこむように。